

平成31年4月

佐倉市八街市酒々井町消防組合地域防災力向上計画

本計画は千葉県地域防災力向上総合支援補助金交付要綱第2条第1項に規定する、自助・共助の取組を促進し、地域防災力の充実強化を図るために佐倉市八街市酒々井町消防組合（以下「消防組合」という。）が策定する計画として、平成31年度までに実施する消防団の活性化や充実強化に関する事業のために策定する。

自助・共助の取組

災害による被害を最小限に止め、被害の拡大を阻止し、生命・財産を守るためには、平素から、防災・災害・減災に対する関心と、自助・共助の取組が重要であり、「自分の身は自分で守る」「自分たちのまちは自分たちで守る」という意識を持ち、佐倉市、八街市及び酒々井町（以下「構成市町」という。）における各消防団に協力し活性化及び充実強化を図る。

消防団の活動促進

1 現状及び課題

消防組合構成市町消防団は、地域に密着した防災力の要として活動しているが、市民の被雇用者化の進展による入団者不足をはじめ、団員の高齢化による退団者が後を絶たない状況にある。

このような状況の中で、若年層に入団を促しているが、都心部のベッドタウンという地域特性から成人層の就業形態は被雇用者が多く、日中は都心部に勤務しているため、昼夜を問わず災害等に対応する消防団活動に難色を示す状況にある。また、勤務先や家族の理解が得られるか不安を訴えることも多く、消防団活動に対する認知度向上と併せて、より一層の理解促進を図る必要がある。

消防団員数の減少は、地域防災力の低下をはじめ、住民が抱く安心・安全に係る意識の低下にも繋がることから、様々な策を講じて歯止めを掛けなければならない状況にある。また、近年、自然災害をはじめ災害の傾向は大規模多様化しているため、有事における即応体制を確立するためには消防団の増強は急務である。

- 消防団 佐倉市消防団数 1本部7分団53部、団員数740人
- 八街市消防団数 1本部25分団、団員数378人
- 酒々井町消防団数 1本部13分団、団員数165人

（平成31年4月1日現在）

2 基本方針

消防組合構成市町消防団の入団促進を図り、学生を含めた若年層を増やし人員の確保、組織の若返りによるフレッシュパワーの活用により活動能力を向上させ、郷土愛に満ち溢れた地域密着型の消防団として組織を活性化する。

3 目標（平成31年度末まで）

構成市町消防団の新規入団員の促進

4 具体的な取組み

構成市町が開催する総合防災訓練等において、消防団員及び消防職員による消防フェアを実施し消防団への入団を促進するための広報及び啓発をする。